

2016年8月16日

関係各位

ジブラルタ生命保険株式会社

全国へき地教育研究連盟加盟校へリユースパソコン 461 台を寄贈

ジブラルタ生命保険株式会社(代表取締役社長兼 CEO 山内 一洋、東京都千代田区)は、リユース(再生)処理を施したノートパソコン 461 台を、全国へき地教育研究連盟(会長 田中 和敏、東京都港区)を通じて、加盟各校から希望を募り、応募のあった全国のへき地・複式・小規模校(355 校)に寄贈します。

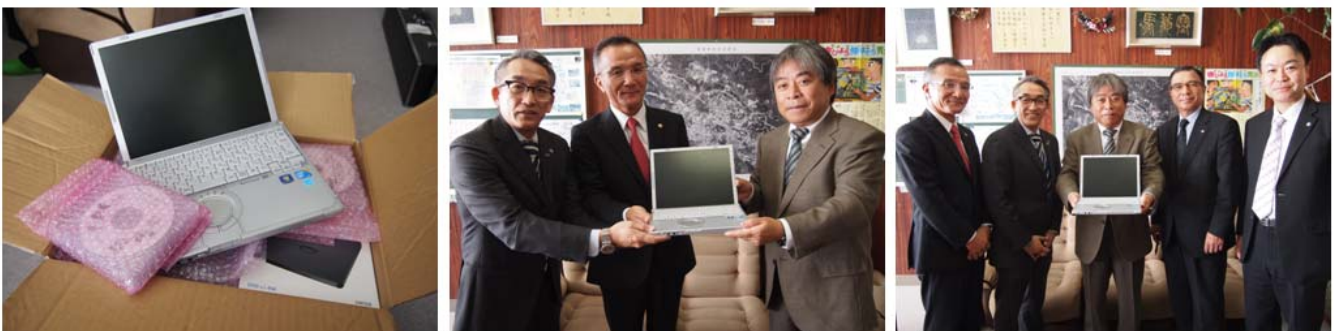
■ “リユース(再生)”ノートパソコン寄贈の概要 ■

各学校へ寄贈するパソコンは、社内で使用しなくなったパソコンのうち 461 台をリユースして贈呈します。寄贈にあたっては、必要となるリユース処理(パソコン内のデータ消去に加え、筐体のクリーンアップ、アプリケーション等のインストール、オプション品の付設等)を行った後、各学校ごとに梱包・配送します。

■ 寄贈の目的 ■

今回のリユースパソコン寄贈は、当社の社会貢献活動テーマである「未来を担う子どもたちを応援する」ために実施するもので、全国へき地教育研究連盟を通じて、連盟に加盟する全国のへき地・複式・小規模校(3,484 校)から希望を募り、応募のあった 355 校に寄贈します。

なお、この取り組みは 2015 年からスタートし、昨年は 417 校に 510 台のリユース PC を寄贈しました。当社はこれからも未来を担う子どもたちを応援すべく、様々な社会貢献活動に取り組んでまいります。



(写真:昨年(2015年)群馬県草津町の草津町立草津中学校で行われた贈呈式の様子)

(ご参考) ■ 全国へき地教育研究連盟について

同連盟は各都道府県へき地教育研究団体の活動を促進し、関係機関団体との連絡を密にして、へき地学校、小規模学校、複式学級を有する学校、分校等の教育の充実をはかり、もってへき地における教育の振興をはかることを目的に活動されています。

ホームページ: <http://www.zenhekiren.net/index.html>